

ミズワラビとトチカガミの新潟県における分布

木村 彰

湿地や池などは人為的な作用によって変化することが多く、そこに生育する水生植物に大きな影響を与えている。人の生活圏と関わりが深く、最近の環境の変化により分布上で移動の激しいとみられる水生植物、ミズワラビとトチカガミの分布についての知見を報告する。特にミズワラビは、一時絶滅と思われた種が、各地で繁茂し、調査範囲を広げるとさらに新たな生育地が確認できるようである。これまで得られた情報を整理し、更に本種の動向を知る手掛かりになればと考えて掲載する。[写真23頁参照]。

○ミズワラビ *Ceratopteris thalictroides* (L.) Brongn.

(写真 1)

ミズワラビの県内分布(登坂,1988)には聖籠町、新潟市、大潟町が記録されているのみであったが、その後、県内でもミズワラビの生育地の報告が増え、笹神村、巻町、吉田町、越路町、柿崎町、頸城村、三和村、上越市が記録されている。これに以下の地点を追加する。なお、一部の調査には清水尚之氏、久原泰雅氏のご協力をいただいた。

新潟市新和 0m [新潟 391376-12、環境庁メッシュ 5639-60-73] (2003年11月9日撮影)

住宅地の道を挟んで隣り合う耕作田3箇所に少なくとも2001年以降毎年発生している。

西蒲原郡弥彦村平野 9m [弥彦 384375-21、環境庁メッシュ 5638-46-39] (2002年9月8日撮影)

乾燥化する休耕田の一角に残存するように生育していた。

中蒲原郡村松町千原 13m [新津 391375-32、環境庁メッシュ 5639-41-53]

耕作田の一角に生育していた。

見附市学校町 19m [三条 384374-32、環境庁メッシュ 5638-27-53・54] (2002年9月16日撮影)

2002年に区画整理のため一時的に休耕田化した所にはミズワラビが大発生し、株径50cmクラスの大株がゴロゴロしていた。翌年にはイネ科草本が繁茂し、ミズワラビは一気に衰退したが、この界隈にはミズワラビが広い範囲に分布していて、既に区画整理の済んだ地点の耕作田にも生育している。この休耕田も耕作再開後は再びミズワラビが生育する環境が戻ると思われる。

刈羽郡刈羽村刈羽 9m [柏崎 383373-23、環境庁メッシュ 5638-14-19] (2003年10月5日撮影)

休耕田1枚に少なくとも1999年以降は毎年発生している。地主の方によるとその頃から休耕田となったとのことだが、水が絶えず、且つ他の草の繁茂もなく、ミズワラビが生育し続けている。

○トチカガミ *Hydrocharis dubia* (Blume) Backer

(トチカガミ科)

(写真 2)

トチカガミの県内分布(笹川,1989)には村上市、中条町、加治川村、新発田市(旧豊浦町を含む)、豊栄市、新潟市、西山町、頸城村及びその他の報告もあるが、以下の産地を追加する。なお、一部清水尚之氏のご協力をいただいた。

西蒲原郡味方村吉江 2m [新津 391375-13、14、環境庁メッシュ 5639-50-40*] (2001年8月12日撮影)

田んぼ脇の水路。水面には油が浮いており、水質は良くないと思われるが、毎年旺盛に生育している。

南蒲原郡田上町原ヶ崎新田 12m [新津 391375-21、環境庁メッシュ 5639-40-35] (2003年9月13日撮影)

池面をトチカガミのみが覆っていた。

西蒲原郡西川町新川 1~2m [弥彦 384375-33、43、44、環境庁メッシュ 5638-57-35・77*] (2001年9月16日撮影)

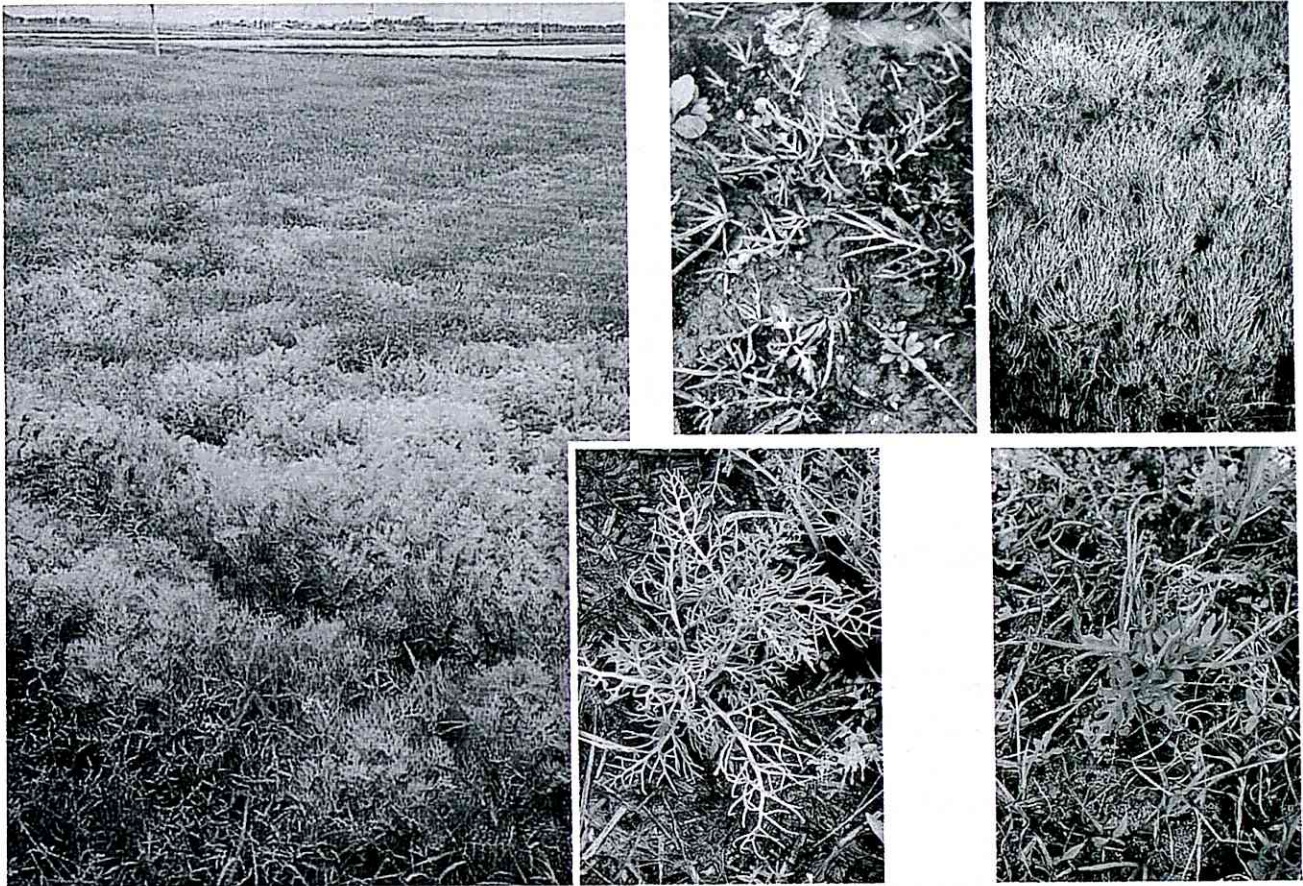
新川流域には点々とある。写真の地点では2001年以降は毎年発生を確認しているが、流水域とあって年により消長が激しい。コウガイモ、ヒシ、ホザキノフサモ、コウホネ等を伴い、人家が近いため2001年にはホテイアオイ、2003年にはボタンウキクサの繁殖が見られた。

柏崎市飯塚 14m [柏崎 383373-32、環境庁メッシュ 5638-05-81] (2002年8月11日撮影)

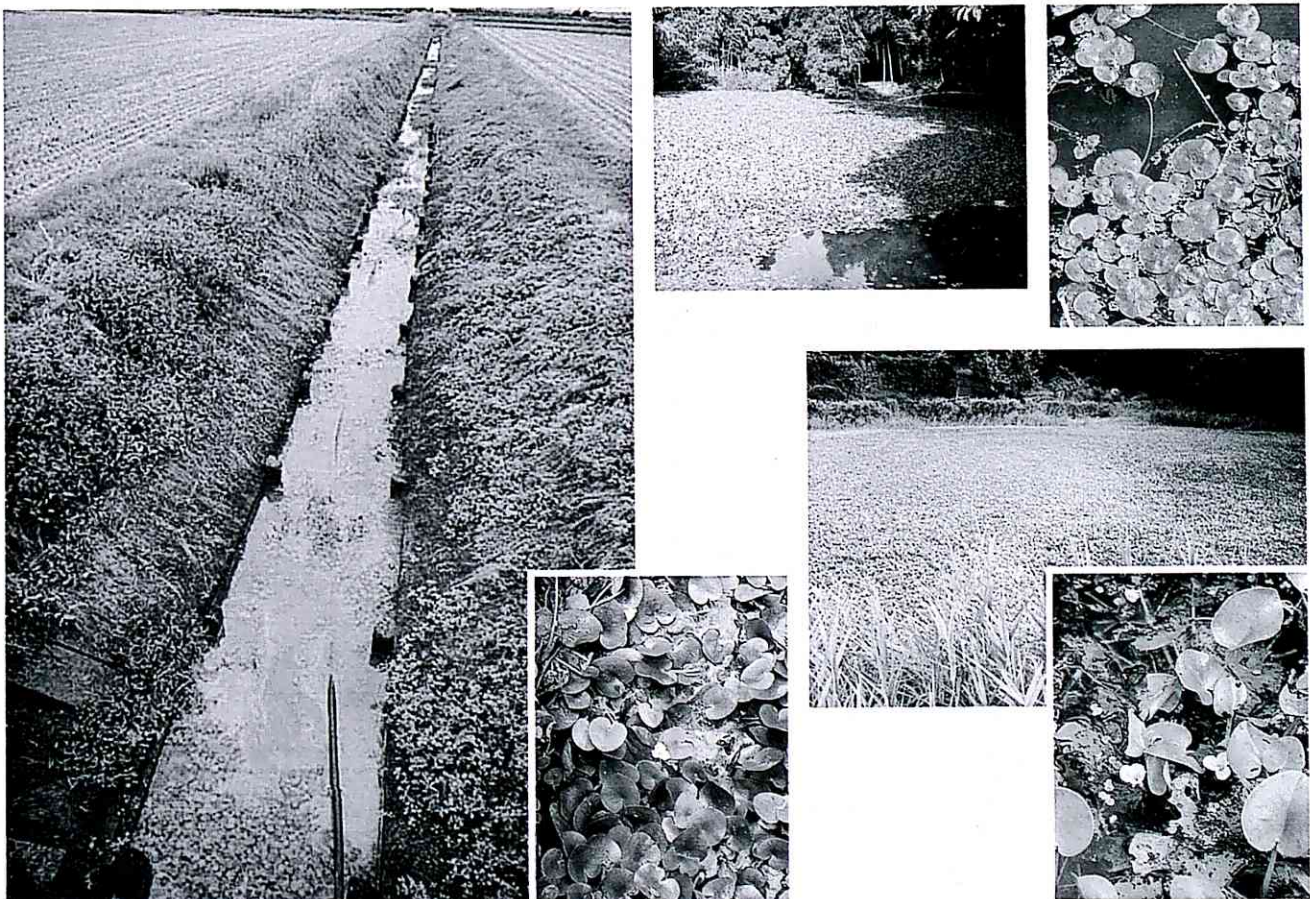
小さな池の水面をヒシ類とともに覆い尽くす。沈水にはクロモ、マツモを伴う。

【参考文献】

- 登坂裕一(1988) ミズワラビ、新潟県植物分布図集第9集、植物同好じねんじょ会
 牧野恭次(2000) 新潟県の羊歯植物誌、コーエイ印刷
 高橋 務(2001) 絶滅危惧植物を育てる—ミズワラビ、新潟県植物保護第29号、新潟県植物保護協会
 石澤 進(2000) 吉田町における稀産あるいは分布上顕著な植物、町史研究よしだ第4号、吉田町教育委員会
 渡辺 茂(2000) 越路町のミズワラビ、新潟県植物分布図集第20集、植物同好じねんじょ会
 高澤盛一(1999) 上越市付近のミズワラビの分布と発生について、ろうたす24、上越植物友の会
 笹川通博(1989) トチカガミ、新潟県植物分布図集第10集、植物同好じねんじょ会



[写真 1] ミズワラビ 左及び下中：見附市学校町、上中：新潟市新和、上右：刈羽村刈羽、下右：弥彦村平野



[写真 2] トチカガミ 左及び下左：味方村吉江、上中：田上町原ヶ崎新田、上右：西川町新川、下中及び下右：柏崎市飯塚